

Ⅲ.2015年度(平成27年度)予算の概要

平成27年度予算について、その概要を報告いたします。なお、金額は千円未満を四捨五入して示しています。

[1] 資金収支計算

資金収支計算について、その主な内容を報告いたします。

資金収支総括表

(収入の部)		(単位：千円)		
科 目	27年度予算	26年度予算	増 減	
学生生徒等納付金収入	4,361,976	4,343,858	18,118	
手数料収入	52,348	57,651	△ 5,303	
寄付金収入	83,050	113,984	△ 30,934	
補助金収入	1,273,435	1,300,367	△ 26,932	
資産売却収入	324,400	322,000	2,400	
付随事業・収益事業収入	272,448	256,974	15,474	
受取利息・配当金収入	24,779	22,429	2,350	
雑収入	199,855	172,648	27,207	
借入金等収入	102,800	102,800	0	
前受金収入	531,132	545,763	△ 14,631	
その他の収入	1,421,120	1,848,819	△ 427,699	
資金収入調整勘定	△ 729,208	△ 669,742	△ 59,466	
当年度資金収入合計	7,918,135	8,417,551	△ 499,416	
前年度繰越支払資金	3,220,446	3,533,603	△ 313,157	
収入の部合計	11,138,581	11,951,154	△ 812,573	

(支出の部)		(単位：千円)		
科 目	27年度予算	26年度予算	増 減	
人件費支出	4,181,087	4,085,466	95,621	
(教・職員人件費、役員報酬)	3,845,084	3,838,707	6,377	
(退職金支出)	336,003	246,759	89,244	
教育研究経費支出	1,064,846	1,026,929	37,917	
管理経費支出	449,910	454,929	△ 5,019	
借入金等利息支出	9,539	13,010	△ 3,471	
借入金等返済支出	276,920	278,420	△ 1,500	
施設関係支出	201,833	209,160	△ 7,327	
設備関係支出	132,940	166,891	△ 33,951	
資産運用支出	1,639,760	2,173,448	△ 533,688	
その他の支出	269,752	552,048	△ 282,296	
[予備費]	50,000	50,000	0	
資金支出調整勘定	△ 359,545	△ 279,594	△ 79,951	
当年度資金支出合計	7,917,042	8,730,707	△ 813,665	
次年度繰越支払資金	3,221,539	3,220,447	1,092	
支出の部合計	11,138,581	11,951,154	△ 812,573	

当年度資金収支差額	1,093	△ 313,156	314,249
-----------	-------	-----------	---------

各学校別授業料収入および教育充実費収入内訳については、学生・生徒数70名減、同様に入学金収入内訳についても、入学者数17名減となりました。しかし平成27年度には、幼稚園から中学校までは授業料を、大学および大学院は教育充実費をそれぞれ値上げします(高等学校のみ据え置き)。この結果、実質納付金収入(下記補助金の控除前)は、1,956万円の増収となります。
※ 大阪府の「私立高等学校等授業料支援補助金」及び各市町村の「幼稚園の保護者に対する就園奨励補助金」2億6,070万円は、納付金から控除し補助金収入に計上します。

国庫補助金は3,365万円の減少を、大阪府経常費補助金等地方公共団体補助金収入は671万円の増加を計上しています。

その他の固定資産の中の各種引当特定資産組み入れ債券の年度内償還額のみを計上しています。

27年度は、定年退職者13名の退職金財団からの交付金(1億7,545万円)を計上しています。

各種引当特定資産の債券や定期預金満期による繰入収入及び前期末未収入金(26年度退職者の退職金財団からの交付金)を計上しています。

27年度定年退職者分の退職金財団よりの交付金(期末未収入金)及び26年度前受金(前期末前受金)を計上しています。

今年度人事計画に基づく教職員の採用、退職、昇給等を勘案し、本俸、期末・勤勉手当を積算しました。27年度については収支の均衡を図るため、手当の一部や役員報酬を減額計上としました。退職金については定年退職者の退職金を計上しています。

法人戦略予算は、学生・生徒等の安全を第一優先に、次に入学志願者の増加・中途退学者の減少・就職率の向上に対して重点的に予算を配分するなど全体的には抑制的ではあるが費用対効果を考えた限られた予算の有効的配分を行いました。また泉ヶ丘高校及び住吉高校において大阪府の「私立高等学校等授業料支援補助金」に伴う法人負担額(標準授業料58万円との差額)を奨学費支出として4,821万円を計上しました。

非常に厳しい収支状況を鑑み、昨年度に引き続き本年度も大学の共同研究費を計上せず、また大学の個人研究費は一律5万円をカットした。

各種引当特定資産の債券満期による繰入れ及び減価償却引当特定資産へ5千万円を繰入れします。

平成26年度退職金支払による前期末未払金を計上するとともに、平成21年度のリース取引関する会計処理変更に伴い、平成27年度中に支払うリース資産の金額を計上する。

平成27年度退職金支払による期末未払金を計上する。

(注) 上記の表の金額は千円未満を四捨五入しているため、合計及び増減の数値が計算上一致しない場合があります。以下の表についても同様です。